

## 個人病院・診療所の所得統計 -国税庁の統計表から推測する-

自分の所得は、同じ職業の方と比べてどの程度かということは誰しも興味があるところ  
です。

国税庁の職業別申告所得税の統計データから数値を算出してみました。個人で病院や診療  
所を経営されていらっしゃる方は毎年所得税の確定申告をしています。

注意していただきたいのは、これはあくまでも個人で病院・診療所を行っているとして申  
告した人の統計ということです。

例えば、医療法人を作っていてそこから理事長報酬、院長報酬としてもらっている方は国  
税庁では統計を取っていません。あくまでも、個人病院・診療所として統計を見てください。

平成 23 年度の国税庁の統計を見てみると下記の表のようになっています。

所得区分	人数	累計 (%)
1 億円以上	978 人	2.54%
5,000 万円 ~ 1 億円	4,293 人	13.72%
3,000 万円 ~ 5,000 万円	7,346 人	32.83%
2,000 万円 ~ 3,000 万円	7,519 人	52.40%
1,500 万円 ~ 2,000 万円	5,637 人	67.06%
1,200 万円 ~ 1,500 万円	3,929 人	77.29%
1,000 万円 ~ 1,200 万円	2,548 人	83.92%
800 万円 ~ 1,000 万円	2,558 人	90.57%
700 万円 ~ 800 万円	1,235 人	93.79%
600 万円 ~ 700 万円	1,180 人	96.86%
500 万円 ~ 600 万円	1,208 人	100.00%
合計	38,431 人	

500 万円以下	4,617 人
----------	---------

総合計	43,048 人
-----	----------

あくまでもこれは所得です。所得が 500 万円以下の方もいらっしゃいますので、これはちょっと横に省いてみます。

そうすると、個人病院・診療所の方のうち、統計区分で一番多いレベルは 2,000~3,000 万円の所得の方、それに続くのは 3,000~5,000 万円の所得の方ということがいえます。

また、所得 500 万円以上の方に絞って累計数値を見ていくと、所得 5,000 万円以上で上位 14%のうちに入っている事になります。

また、統計によれば個人病院・診療所として申告された 43,048 人（500 万円以下の所得を含んだ人数）の所得金額の合計は 10 兆 2,000 億円とされていますから単純平均でいえば 2,370 万円が平均ということになります。

ちなみに、単純に他の専門的職業別の所得を見ていくと、個人の歯科医院の先生方、弁護士の先生方、会計士・税理士の先生方の所得区分のうち 500 万円以上で最も多いクラスは所得 800~1,000 万円のクラスですので、開業医の先生方は世間相場的には相当の高水準の所得の方が多いと言えます。

職業	最も多い所得階層	単純平均一人あたり所得
歯科医師	800 万円 ~ 1,000 万円	900 万円
弁護士	800 万円 ~ 1,000 万円	996 万円
会計士・税理士	800 万円 ~ 1,000 万円	645 万円

会計士・税理士の欄の平均が低いのは、500 万円以下の方々の人数が多い、いわゆる税務当局OBの先生方で年金等の受給で特に会計・税務業務にそれほど力を入れてらっしゃらない方々の人数が入り込んでいるせいだろうと推測しています。

日本の税制の流れとして、個人の所得税は高額所得者にはより重く、法人の税率はより低くという流れにありますので、私としては、高額所得の医師の先生方には一人医師医療法人をすすめているのですが・・・。



## セカンドオピニオンに対する患者意識

近年、セカンドオピニオン（他の医師の意見）を求める患者さんが増え、セカンドオピニオン外来を設ける大規模医療機関もあります。

そこで、今回は、厚労省の調査（平成23年受療行動調査の概況）より、セカンドオピニオンに対する患者意識に関する調査結果を紹介します。

- ・セカンドオピニオンが必要だと思う割合  
外来患者：23.4% 入院患者：34.6%
- ・セカンドオピニオンを必要だと思わない割合  
外来患者：52.8% 入院患者：42.3%  
全体的には、まだ現在の病医院の診療で満足という方が多いのですが、比較的入院患者の方が不安を感じている、という結果です。
- ・（上記セカンドオピニオンが必要と思うと回答した患者の中で）セカンドオピニオンを経験した割合  
外来患者：30.3% 入院患者：32.1%  
必要とは思っているものの、その疾病内容や時間・金銭面の制約等から実際に受けてみた方の割合が3割程度にとどまっているものと思われます。
- ・セカンドオピニオンを受けた患者さんの満足度  
良かった 外来患者：79.3% 入院患者：82.0%  
良くなかった 外来患者：2.5% 入院患者：2.3%  
実際受けられた患者さんの満足度はかなり高いようです。

セカンドオピニオンに対する患者さんの考え方は様々ですが、セカンドオピニオンを求める患者さんは、今後も増加することが予想されます。主治医としては、日ごろからの病状や治療方針などをしっかり説明しておき、患者さんとのコミュニケーションも大事にしておくことが、より大切になってくるのではないかと、思われます。

